

「自己肯定感」
「セルフ・エスティーム」
「自己評価」
「自己実現の欲求」
「尊敬・承認欲求」
「愛情・社会性の欲求」
「安全欲求」
「生理・身体的欲求」

は性格・障がい・特技など自分の要素から作られるイメージに対して、自分の価値を評価し、自分を大切にしようと思う気持ちです。「自信」や「プライド」とは違い、「良いところも悪いところも含めた、ありのままの自分を受け入れているかど

自己肯定感 セルフ・エスティーム

「自己評価」しなければならない時、客観的にはできていなければ、あたかもできているように過大評価してしまったり、逆に客観的にはできているにも関わらず自信がなくて過小評価をしてしまうこともあるかもしれません。

うか」「自分を大切にし、自信をもつための基本」といったことです。セルフ・エスティームの高い人はチャレンジしようとなく周りと調和しながらも自分はこうしたいと自己実現を目指すなど、他者を受け入れつつ自分を成長させられるバラ

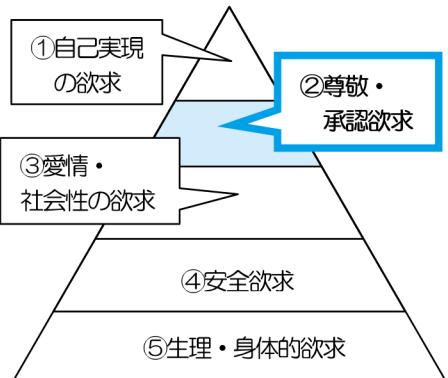
ンス感覚があります。
逆に「どうせ〇〇だし」「自分がなんて」「やつても無駄」という言葉からはセルフ・エスティームがどういう状態なのか、考えるのは難しくないことと思われます。これまでの「こらば」でも『二次障害』(平成24年10月号)について触れてきましたが、自分の持っている力を放棄し、モチベーションの上がらない状態が長く続くこと、とも言えるでしょう。

大人であっても全ての人が十分にセルフ・エスティームを満たして自己実現している、とは言えませんが、こういった階層があることを知った上で、子どもに対してもできることが、私たちは実行していくことが、私たち大人に望まれることなのでしょう。

アーローは人間の欲求を5つの段階にわけ、「欲求階層説」(左図)として説明しています。これで全てのことが説明できるわけではありませんが、生きることに十分な食事や睡眠が与えられ、安全に健やかに育つことで、はじめてセルフ・エスティーム(図中では②)を満たしたいという欲求、つまり「自分も周りも大切にしていくたい」という思いが生まれてくるのです。

A・マズローの「欲求階層説」

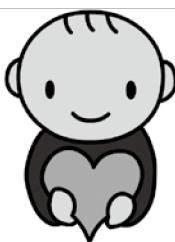
下の階層の欲求が満たされると、より上の階層の欲求を欲する、というもの。



- ①自己達成や自己実現
- ②セルフ・エスティームに関わること
- ③所富・仲間・愛情・親和に関わること
- ④恐怖・危険・苦痛からの回避
- ⑤食事・睡眠など生命維持に関わること

こ・こ・ら・ぼ

～このコラボレーション～



スクールソポーター
(臨床心理士)
小林 真理

植物園だより

植物観察会のお知らせ ～絶滅危惧植物を観察しよう～

とき 7月5日(日)、19日(日)
10時30分から 11時30分まで

講師 植物園園長
内容 植物園が取り組む希少植物の保存活動や、見頃の植物について紹介します。観察会終了後、ミニ企画展の見どころも紹介します。

定員 各日20名
参加料 入園料のみ
小学生以上 1人1回100円
(展示館入館料含む)

* 申し込み不要
* 天候状況等により時間の短縮や観察会を中止にする場合があります。

問い合わせ

植物園 48-3337

◆7月花ごよみ



今月上旬、日本に固有なクガイソウの淡い紫色の花が見頃を迎えます。

上旬 アマチャヤ、イブキジヤコウソウ、イブキトラノオ、エゾノキリンソウ、カキラン、クガイソウ、コメツヅジ、ヤナギラン、ヤマアジサイ

中旬 アカバナシモツケソウ、エゾオヤマハコベ、エゾミゾハギ、カライトソウ、キキョウ、クサレダメ、ナツツバキ、ノハナショウブ

下旬 オトギリソウ、オミナエシ、キハギ、クサアジサイ、シキンカラマツ、トモエソウ、ハチミツソウ、マツムシソウ、ヤマユリ
(※主なものを掲載)